

集落協定の主な取組事例

(別紙)

○超急傾斜農地での生産販売促進と農作業体験による地域活性

もりうえ

森上集落協定(吉備中央町)

協定面積：8.8ha 交付金額：239万円

超急傾斜農地が多い地区で、保全活動のほか、生産した米を町内産・協定集落地区産である旨のラベルを付けてPR・販売している。

また、将来の担い手の確保、地域活性化を目的として、都市部住民や非農家を対象に、田植えや脱穀体験等の農作業体験を実施している。令和2年度は、コロナ禍にもかかわらず、延べ11名(うち町外7名)が参加した。

上記のように、農業生産活動の継続に向けた積極的な取り組みが実践されている。

【主な取組実績】

- 超急傾斜農地の草刈等の保全、農産物の販売促進
- 農作業体験等を通じた都市部住民や非農家との交流



販売している米



田植え体験(町外から参加)



販売している
米のラベル

○整備と管理で集落を美しく保つ

よしのり

吉則集落協定(倉敷市)

協定面積：1.2ha 交付金額：20.4万円

構成員は少人数ではあるものの、各々が責任感を強く持ち、日々の活動に取り組んでいる。

また、将来にわたって当該農地を維持するため、水路・農道の管理、法面の点検・草刈り等に力を入れるとともに、農用地の進入路や法面に簡単なコンクリート化工事を行い、管理をしやすい環境整備を行っている。

さらに、イノシシ被害防止柵の設置や電気柵のケーブルの管理をするなど、鳥獣害の対策活動も促進している。

【主な取組実績】

- 畑、田周辺、法面の草刈り
- 水路、農道の維持管理
- イノシシ被害防止電気柵の設置・管理



周辺林地の下草刈り



電気柵の管理



畦畔や進入路のコンクリート化

○集落協定の広域化と棚田地域振興活動加算を活用した地域振興

やしろ

社集落協定(真庭市)

協定面積：36.7ha 交付金額：1,198万円

社地区では、活動体制の維持と新たな人材確保を目的に3協定が合併して活動している。

当地区は指定棚田地域に指定されており、棚田地域振興活動加算を活用して棚田で栽培した餅米「ヤシロモチ」を原料にした餅の商品化等に取り組んでいる。

また、放置竹林の再生に取り組むとともに、伐採した竹を活用して大学生等との交流イベント(竹を活用したライトアップイベント)を開催するなど地域の活性化や景観の回復に取り組んでいる。

【主な取組実績】

- 放置竹林の再生活動(10a再生)、交流イベントの開催
- 餅米「ヤシロモチ」の商品化(パッケージの作成)
- 担い手の確保(1名)



餅米の商品化



竹あかりイベント



放置竹林の伐採